

秋田駒ヶ岳・森吉山・焼石岳山行報告

【山行日】2017年 6月 9日(金)～11日(日)

【集 合】栃木市運動公園 P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 28,200円

【メンバー】CL:鈴木、 岩淵、大西、島田、関、
福田夕、松館、渡辺

6月9日(金) 曇り後晴れ 八合目登山口から
男女岳・男岳を登り八合目登山口へ

栃木市運動公園 P3:00＝八合目登山口 P8:45/9:05
～ 男女岳 10:35/10:50～ 阿弥陀池避難小屋
11:10/11:50～男岳 12:10/12:25～八合目登山口 13:50/14:00＝森吉山荘 16:10



「行きたい山アンケート」で森吉山と焼石岳のリクエストがあり、秋田駒ヶ岳と併せて「花の百名山」3座を登る計画をした。数日前から天気予報を確認するが、3日間共余り良い天気では無いようだ。



東北道を北上し盛岡ICで降り、国道46号線を西に進み田沢湖へ向かうが、これから登る秋田駒ヶ岳は黒い雲に覆われていた。田沢湖の東から県道127号線を走り、秋田駒ヶ岳八合目 P を目指す。この時季土日はマイカーが規制され、麓の「アルパこまくさ」でシャトルバスに乗り換えるが、今日は平日なので八合目駐車場まで入れる。狭い道路を九十九折れに登って行くが、ガスで視界が悪く慎重に走る。八合目駐車場に着くと、車は数台しか止まってなくてトイレが一番近い場所

所に止める。ガスで何も見えなくてモチベーションは上がらないが、トイレを済ませストレッチを行い

出発する。出がけに管理人のおじさんから「どこから来たの？ 遠くから来てご苦労さんだが、まだ花は何も咲いてないよ」と冷たい言葉に足取りも重くなる。整備された広い登山道を進むと、直ぐに雪が現れ慎重に登って行く。登山道の脇にはスミレやヒメイチゲ、ミネザクラ等の花が咲き、I 淵さんが「花は結構咲いてるジャンねえ～」と嬉しそう。ガスのなかを登り、阿弥陀池の木道もガスで周りは見えない。「晴れていれば素晴らしい景色なのにねえ～」と言うと「晴れていればって言われても、見えねえんだから分かんねえよ！」と不満顔。



天気が良くないので、コースを変更し男女岳分岐

から男女岳を目指す。登る途中から時々陽が射すようになり、一瞬周りの景色が見えるようになってくる。山頂に着き陽が射す瞬間に写真を撮り、果物や菓子を食べて晴れるのを待つ。待ったかきがあり、パーッと晴れ周りの景色が見え「ウワ～～綺麗」と歓声上がる。また直ぐにガスに覆われ

るが、段々晴れる時間が長くなってきた。下山する途中で完全に晴れ渡り、阿弥陀池や男岳、横岳の全容が現れ大感激。I 渚さんも「スーさんが晴れば素晴らしい景色と何回も言うけど、見てみないとこの素晴らしさは解らないよね！」と興奮気味。雪が多いので横岳からムーミン谷へノコースは諦め、避難小屋で早めのランチタイムにする。素晴らしい景色を見ながら外で食べようとうどんを作り始めたが、風が強く火が飛んでしまうので、避難小屋の中で調理する。キノコうどんが出来上がったら各自外に出て、景色を眺めながらうどんをいただく。朝が早くお腹ハペコペコなので、とても美味しくいただけた。お腹が満たされたらトイレを済ませ、避難小屋を後にする。阿弥陀池の対岸を通り、男岳への分岐から男岳を目指し登って行く。いきなり雪渓の登りに皆難儀するが、「キックステップでこうして登るんだよ」と教えながら登って行く。鞍部まで登ると雪は無くなり、快適な尾根歩きになる。登山道の脇にはシラネアオイが出迎えてくれ、疲れを癒してくれる。男岳山頂からは360度の panoramade、明日登る予定の森吉山や焼石岳、岩手山等東北の名山が見渡せる。山頂からの眺望を楽しんだら、来た道に戻り下山する。阿弥陀池まで下り留守番の2人と合流し、八合目登山口に向かい下山する。すっかり晴れ渡り、往路では見られなかった景色や花がくっきりと見え、「こんなに良い景色だったんだ」と言いながら降りて行く。八合目登山口まで降り、汚れた靴やスパッツを洗い今宵の宿「森吉山荘」に向かう。

山荘に着き、のんびり温泉に浸かり山の疲れを癒し夕食のレストランへ行く。

一番早い5時からの夕食にし、ビールを頼んだら驚いた。「飲み物は全て飲み放題になっています。ご自分で注いで好きなお飲み物を好きなだけ召し上がってください」と言われ皆大喜び。

生ビールもボタンを押せば自動の機械で注いで

くれる。ビールやお酒、ジュース等好きなものを飲みながら鍋や陶板焼きに舌鼓を打ち大満足。

部屋に戻り、そのまま布団に入り朝までグッスリ休めた。

6月10日(土) 雨後曇り 雨の為森吉山登山を断念し、田沢湖観光後今宵の宿ひめかゆ温泉へ
森吉山荘 8:15=阿仁 Gondola 山麓駅 9:10/9:30=田沢湖 10:10/10:40=道の駅「雁の里せんなん」
12:15/13:00=ひめかゆ温泉 14:30

昨夜の天気予報で雨の予報なので、ヒバクラ登山口からの縦走は諦め、朝食を食べて Gondola で

登り、山頂ピストンに変更した。朝6時からのんびり温泉に浸かり、7時から朝食バイキングをしっかりといただく。天気予報では午前9時ころから正午までが、本降りの雨が降る予報だ。

山荘を出るときは雨が降っていなかったが、国道105号線に出たころから雨が落ちてきた。国道から阿仁 Gondola への道に入る、雨脚が強くなり、Gondola 駐車場に着く頃には土砂降りの雨になった。

この雨で皆さんも森吉山登山を諦め、レストハウスで買い物を楽しむ。ここからは国道105号線を南下し、途中田沢湖に寄り「たつこ像」を見学し、「むらっ



こ物産館」で買い物し「ひめかゆ温泉」に向かう。

大曲から高速に乗る予定だったが、時間が十分あるので国道を走り横手市に向かった。

横手市の道の駅「雁の里せんなん」に寄り、昼食を食べることにする。最初は蕎麦を食べたいと言っていたが、横手と言えば「横手焼きそば」と女性達は全員焼きそばをオーダーした。これが大外れの「名物に旨いものなし」で、完食するのがとても辛そう。ソースやマヨネーズを掛けてやっとな食し、「スーさんの焼きそばの方がズ〜と美味しい」と不満そう。明日の朝食用のお稲荷さんや焼きおにぎりを購入し宿に向かう。十文字町から国道342号線に左折し、東鳴瀬村から国道397号線を直進し、胆沢ダムの先を右に曲がると今宵の宿「ひめかゆ温泉」に着いた。ここは日帰り温泉「焼石ひめかゆクアパーク」が併設され、宿泊客は両方の温泉を利用することが出来る。早く着いたので温泉にゆっくり浸かり、部屋に戻って宴会が始まる。焼酎を飲みながら山の話をし、夕食までに丁度1本が空き夕食の会場へ移動する。今日は飲み放題は無いので、生ビールをオーダーし美味しい料理をいただきながら宴会が続き、明日登る焼石岳の話で盛り上がる。

宴会が済んだら部屋に戻り、明日は早いのでそのまま床に入り就寝した。



宴会が済んだら部屋に戻り、明日は早いのでそのまま床に入り就寝した。

宴会が済んだら部屋に戻り、明日は早いのでそのまま床に入り就寝した。

6月11日(日) 晴れ(山頂は雨) 中沼登山口から焼石岳を目指し、強風と雨の為焼石平のお花畑で登頂を断念し下山し栃木市運動公園へ帰着

ひめかゆ温泉 5:00＝中沼登山口 5:30/5:45～中沼 6:30～銀名水避難小屋 8:00/8:15～焼石平 9:10/9:30～銀名水避難小屋 10:20/11:00～中沼 12:25～中沼登山口 13:10＝栃木市運動公園P18:50

朝3時30分に起床し、お茶を沸かして朝食のお稲荷さんを食べる。荷物を纏めトイレを済ませ、車に乗って登山口に向かう。天気予報は曇りだが、空は明るく晴れている。胆沢ダムを過ぎ、西焼石トンネルを過ぎた先から右の林道へ入る。狭い未舗装のデコボコ道を7Kmも走り、運転手は結構神経をすり減らす。ようやく広い駐車場がある中沼登山口に到着し、準備を整えトイレを済ませ出発する。



登山口で登山届を入れ、木道を歩いて小沢を渡ると本格的な山道になる。カラマツの植林帯を進み、周囲がブナ林になると間もなく中沼に着く。対岸の原生林の上に雪を抱いた焼石連峰が見えるが、山頂部は黒い雲に覆われていた。湖畔の道を進み、沼の奥の湿原は水芭蕉とリュウキンカが見頃で素晴らしい。ここからは小沢に沿って登るが、登山道はほとんど雪に覆われ雪の上をきわどく歩いて行く。上沼も水芭蕉とリュウキンカが咲き、その先の登山道も雪が融けた斜面は全て水芭蕉が咲き誇る。I 淵

さんは「エ〜こんなすごい水芭蕉は見たことが無いよ。尾瀬よりすごいね」と興奮気味。ブナ林の中、雪と水芭蕉を繰り返しながら登るとつづ沼コースと合わさり、10分程登ると小さな広場に出る。

ここが岩の間から冷水がわき出ている銀名水だ。この先の雪渓をほんの少し登り、右の石段を登っ

た所が銀名水避難小屋。避難小屋のトイレを借り、休憩を取ってから山頂へ向かう。

ここからは山頂を目指す健脚組と、行ける所まで登るシルバー組に分け行動する。長い雪渓を登り、いくつか残雪を越して行くと強風に飛ばされた雨粒が掛かり、レインウエアーの上衣を着る。登るにつれ風は強くなり、油断すると飛ばされそうなくらいの強風だ。沢の中を歩くような、飛び石伝いに登る道は結構足にきつい。登山道脇にチングルマやハクサンイチゲが咲いているが、ガスで全容は解らない。やがて平坦になり、木道を歩くようになると姥石平分岐に着く。ここで山頂とお花畑の、どちらに先に行くか迷っていたら「山頂は熊が居ますよ」との事。



その後下りてきた2人も、「山頂直下の雪渓に熊が居ますから注意してください」と言っている。

皆と相談し、天気も悪いので山頂は断念し、姥石平の「東洋一のお花畑」をめざすことにする。

秋田県側から飛んでくる雨粒と強風に悩まされながらお花畑に着いたが、ハクサンイチゲの大群落は見えるが、数メートル先までで広大なお花畑は見る事が出来なかった。ハクサンコザクラも見えたが、小さいのでほんの1~2m先くらいの花しか見えなかった。ここで良しとし、諦めて分岐まで



戻る。強風に追われるように来た道を下り、避難小屋手前の雪渓まで来ると雨粒は飛んでこなくなった。シルバー組は途中で戻ったらしく、避難小屋に着くと中で待っていた。何組か休憩し昼食を食べていたので、我々も靴を脱いで上に上がりラーメンを作ることにする。強風にさらされた体には、温かいラーメンは何よりもありがたく、美味しくいただいた。昼食が済んだら準備して、トイレを済ませ下山する。下山は往路に戻るが、雪の登山道は滑るので慎重に下って行く。中沼まで下ると雪は無く

なるが、土も滑りやすく気が抜けない。急な登山道を下り、最後の木道を歩くと登山口に着いた。

避難小屋から下は晴天で、山頂直下のお花畑の天候が嘘のように晴れ渡っていた。

登山口から悪路を戻り、国道397号線から東北道水沢ICを目指す。水沢ICから東北道に入り、栃木ICを目指しひたすら南下する。途中、那須高原SAで夕食を食べ、予定よりも早く栃木市運動公園Pに帰着し、次回また森吉山と焼石岳のリベンジを誓い解散した。